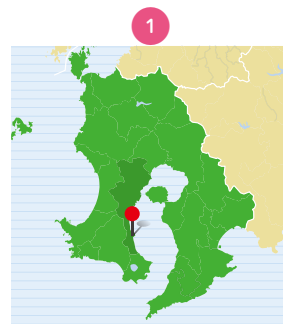


南九州 注目の移住地



鹿児島県
かごしましきいれ
鹿児島市喜入

安心して
年を重ねられるまち

元気なときはもちろん、医療や介護が必要になっても安心して暮らしたい——。そう考えるなら、「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」を推進するまちに注目したい。鹿児島市喜入地域でアクティブに暮らすシニアの日常を伺った。

文／前田真理 写真／岩松敏弘



↑ケアハウスで習字や絵を教える末田固司さん。この日は末田さんがサクラを描いたうちわに字を書いてもらうレッスンを。

→施設の環境整備を担う末田さんは、芝刈りや施設の修理などの手入れも楽しそう。



↑サンファミリーきいれは、全30室が錦江湾に面し、眺めのいい食事付きケアハウスだ。

老後の安心もほしい
シニアが元気な住環境

生涯を元気で、豊かに、安心して暮らしたい——。多くの人の望みだが、人口集中が進む首都圏ではそれが難しくなりつつある。そこで、アメリカで普及するCCRCを参考にして国が進めるのが、「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想。高齢者が自らの希望で地方に移り住み、健康でアクティブな生活を送る

喜ばれることがうれしい！
特技を生かすシニア生活

とともに、医療や介護が必要なきときには継続的ケアを受けることができる地域づくりだ。

鹿児島市がこの構想を進めるのは喜入地域。自然豊かで医療・介護施設が充実している。きいれセントラルクリニックを中核に、ケアハウスや介護老人保健施設など7つの施設を運営する「ニコニコタウンきいれ」が市と連携し、世代を超えて移住を支援している。

ケアハウスで書道や絵の指導ボランティアを続けている末田



↑移住後の人間関係の足がかりにと、地元民と移住者が交流できるBARイベントを開催した。

喜入は鹿児島市最南端のまち。雄大な桜島が浮かぶ錦江湾に面し、アオリなどの海の幸や、スイートコーンやマンゴーなどの農産物にも恵まれる自然豊かなエリアだ。温泉で知られる指宿にも接しており、鹿児島・指宿双方の市街地へはそれぞれ車で20分の通勤圏にある。



末田固司さん（69歳）は、35年前に家族で千葉から移り住んだ。関東地区で一戸建てを持つ難しさから別の地を探していたが、温暖な気候にひかれて鹿児島を選んだのだ。喜入に念願の一戸建てを構えるが、単身赴任で他県へ。アクティブシニアとして活動を広げるのは定年後のことだ。「シルバー人材センターで、『あなたには1つの石ころだと思わない』と話されたことが心に残っている」と話す末田さん。過

※Continuing Care Retirement Community

喜入のユニーク移住体験!

1人1泊3食付きで健康チェック 「サンファミリーきいれ」

サンファミリーきいれに宿泊する体験移住プランは、食事付きで1人1泊3食付き1500円。希望者は全身状態測定機器、非接触型睡眠計などの機器を使って健康チェックと理学療法士のアドバイスが受けられる。そのほか、グリーンファームのバンガローや賃貸コーポに宿泊できるプランも。最長1週間利用できる(料金は問い合わせ)。

☎ 参天会・喜入会共同企業体

☎ 099-345-0808

<https://kiire.life/>



↑ 移住体験では、グリーンファーム内のバンガローも宿泊可能。自然のなかで農業体験もできる。
 ↓ 移住を検討している神奈川県在住の方々が、ケアハウスの施設を見学。



街も自然もほどよく近く、喜び入るまち喜入は、これからの住みたいまちです。

「ニコニコタウンきいれ」

生涯活躍のまち推進リーダー・松永崇志さん

鹿児島県 移住支援情報

農・漁・林業、医療福祉……、 移住前に就職、企業先を探す 説明会が3県で開催

九州最南端の広大な県土、恵まれた自然環境と豊富な食材。そんな魅力あふれる鹿児島で理想の暮らしを実現するには、まず鹿児島でやりたい仕事を見つける合同企業説明会「鹿児島で働かんけ〜?」に参加を。3月11日(水)福岡、鹿児島、19日(木)東京にて開催。移住に関する相談はサイト「かごしまで暮らす」でも実施中。

<http://www.kagoshima-iju.jp/work/>

☎ 鹿児島県企画部地域政策課

☎ 099-286-2428



← 平成30年に行われた合同企業説明会の様子。
 ↓ 山頂となだらかな綾線が美しい指宿市の開聞岳。



↑ 瀬々串の展望台からの眺めは末田さんが大好きな景色。桜島の絵は30枚ほど描いているという。



↑ ニコニコタウンきいれの中核施設。歩行年齢測定を用いた治療やリハビリで健康寿命を支えるなど医療と介護が密に連携。



↑ 約20~30分、100~200円で野菜の収穫が楽しめるグリーンファーム。イベントも多数。
 ↓ 汗を流した後は温泉へ。マリニピア喜入では390円で入浴できるほか、温水プールもある。

末田さんに聞く! シニアも安心、喜入の魅力

市街地が近くて素晴らしい 自然環境

朝は大好きな桜島を眺めながらコーヒーを飲むのが日課です。喜入は暖かくて、海も山も美しい。ウミガメが上陸する浜や、マンゴローブが自生する浜もありますよ。市街地に近くてこの環境はうれしいですね。

お金をかけずに楽しめる遊び

喜入には16kmもの長さの海岸線があります。車にはいつも釣り道具を積んでいます。足を延ばして、薩摩富士と呼ばれる指宿の開聞岳に登ることもあります。

住民の穏やかな人柄

のんびりとした雰囲気の喜入のまち。住民の人柄も穏やかで、人情味あふれるコミュニティがあります。

去の肩書にこだわらずに生きることが新たな縁をつなぎ、居場所となることを経験してきた。市の観光農園施設グリーンファームでキャンプ場の管理を任された末田さんは、それをきっかけに孫とキャンプを楽しむことを覚えた。通信教育で学んだ絵や書道の腕を上げると、作品を図書館やコンビニなどへプレゼント。するとボランティアで教えてほしいと声がかかり、今では家のアトリエで大人や子ども

もが通う教室を開いている。さまざまな経験を見込まれ、昨年から「ニコニコタウンきいれ」で環境整備の仕事も任された。「喜んでもらえるのがうれしい。現役時代とは違う。気楽にやればいいですよ」と笑う末田さん。その暮らしぶりは、アクティブシニアライフの1つのお手本だろう。「喜入は子どもからお年寄りまでが安心して住めるところ。ぜひ移住を考えて」と呼びかけにも力が入る。